

春休みを利用して、

佐賀市内の病院の緩和ケア病棟で訪問演奏をしました。三年間「いつかやってみたい」と思い続けていた半面、自分の実力、精神的なものに自信が持てず、ずっと先送りしてきたことです。

思い切って病院を訪

す

へお昼、学校を抜けてホスピスへ。今日はボスが不在なので心細い。先週リクエストされた「宿題」(知床旅情や時代遅れ)を披露しつつ、今日も九十分の交流をした。(僕たちのスタイルは病院の患者さんたちを集める

# 甘くち辛くち

ねてみて、「もっと早く行ったらよかったです」と思いました。三回目に訪問した時のことを書いた日記があるので、少し紹介したいと思います。(この中に登場する「ボス」とは、一緒に訪問演奏をしてくれた佐賀大学のクラスメートのことで

「コンサート形式」ではなく、勝手に演奏を始めて、立ち寄ってくれた方の要望になるべく応える、というスタイル)途中、演奏の合間に他のボランティアの方の「絵手紙教室」に参加。おばあちゃんたちに交じって、僕は妹に手紙を書いた。時

## 音楽を通して

間がゆっくりと流れた。「ホスピスは優しい気持ちをもたらる場所なんだ」と思った。帰り際には、婦長さんにパンをいただく。なんと、手作りだ。「いつもありがとう」そう

目なのに、僕はすでにたくさんものをいただいている気がする。この後何度か訪問したきり、大学の授業が始まってからは病院に行けていないのが現状なのですが、今読み返

### 弓削田 健介 (佐賀市)



「ない」佐賀大学3年生。福岡市出身、1982年生まれ。

音楽療法やピアノ版生涯学習など、音楽と社会のかかわりに興味を持つ。「興味の幅が広くて、将来の目標が定まりきれ

言ってパンをくれた婦長さんの穏やかな笑顔が、この病棟の雰囲気を表しているように思えた。ホスピスに足を運びはじめてまだ三回

すと、本当に良い経験をさせてもらったなあと思います。さて、僕は今、この原稿を佐賀市歴史民俗館内、JURON D

E C A F F Eで書いています。僕が毎週木曜日の昼から、ピアノ弾き語りの演奏をさせてもらっている場所です。とっってもすてきな空間なので、ぜひ一度、遊びに来てください。

それから甘くち辛くちは終わってしまいましたが、僕のホームページ <http://jp.tosp.co.jp/i.asp?i=yugepiano>に毎日、日記をつけています。これから音楽を通して、いろんな報告をしていきたいと思っておりますので、機会がありましたらぜひ見てください。それでは一年間、ありがとうございました!

## オピニオンが